

看護過程と臨床判断 シラバス

授業科目	看護過程と臨床判断	分野/教育内容	専門分野/基礎看護学
開講年次(時期)	1年 前期(7/7)	単位数/時間	1単位/30時間
講師名	竹山 やすえ	所属・役職	岩手県立宮古高等看護学院 副学院長兼教務課主任
		資格・免許	専任教員、看護師
ねらい	対象理解と看護実践に必要な思考過程(問題解決過程)と看護過程の展開について学ぶ 主要な症状を呈する患者の看護に必要な臨床判断について学ぶ		
到達目標	看護記録の目的と意義、看護記録に関する法的規定、看護記録の構成要素、看護記録を記載する際の留意点について理解する		
	看護過程の構成要素と各要素の関係性について理解する		
	看護過程の基盤となる問題解決過程、クリティカルシンキング、リフレクションの重要性について理解する		
	アセスメント(情報の収集と分析)、看護問題の明確化(看護診断)、計画立案の方法及び計画を実施する際の注意点、評価の方法について理解する		
	症状を呈する患者に必要な看護実践について、根拠に基づいて判断できる		
事前学習内容	講義が夏休み期間を挟むため、夏休みに課題を課す予定です。		
成績評価の方法	1.終講試験(80点) 課題(2回の予定 20点) 合計100点		
使用テキスト 参考書	1.基礎看護技術Ⅰ【医学書院】 2.実習記録の書き方がわかる 看護過程展開ガイド(第2版)【照林社】 3.看護の基本となるもの ヴァージニア・ヘンダーソン【日本看護協会出版会】 4.看護過程に沿った対象看護 病態生理と看護のポイント【GAKKEN】		
回数	授業概要	授業方法	
1	看護記録の目的と意義、看護記録に関する法的規定、看護記録の構成要素、看護記録の記載基準	講義	
2	看護過程とは、看護過程の構成要素と各要素の関係性	講義	
3	看護過程の基盤となる考え方(問題解決過程、クリティカルシンキング、リフレクション)	講義	
4	ヘンダーソンの基本的ニードと情報収集の視点①	講義	
5	ヘンダーソンの基本的ニードと情報収集の視点②	講義	
6	アセスメント(情報収集)	講義	
7	アセスメント(情報の解釈と分析)①	講義	
8	アセスメント(情報の解釈と分析)②	講義	
9	全体像と看護問題の抽出	講義	
10	看護計画立案	講義	
11	事例検討	G・W	
12	事例検討	G・W	
13	事例検討	G・W	
14	看護計画に沿った実践と評価	講義	
15	看護診断と看護過程	講義	
16	終講試験		
履修上の留意点	・講義で使用する参考書・文献を活用し、関連する範囲は自己学習して講義に臨むこと ・講義で配布される資料を熟読し、課題や事後の学習に活用すること ・課題には計画的に取り組み、提出日に必ず提出してください		